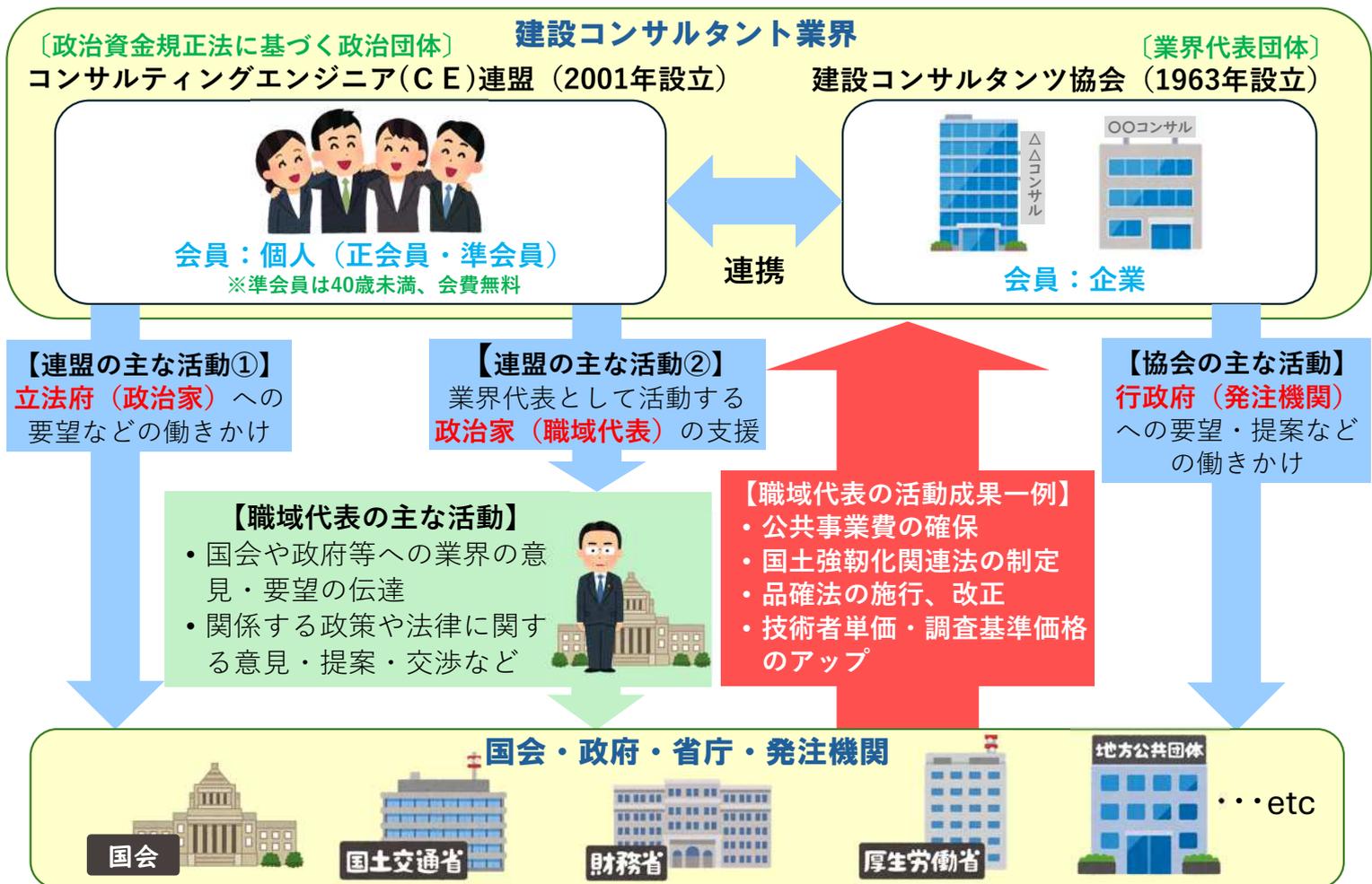


1. 建設コンサルタント業界の関連団体と行政府・立法府との関係

- 各社が企業として入会している建設コンサルタンツ協会は、業界代表団体として行政府（発注機関）への要望や提案などの働きかけを通じて、業界の問題・課題の改善・解決に取り組んでいます。
- 一方、各社有志が入会しているコンサルティングエンジニア連盟は、業界政治団体として、立法府（政治家）への要望などの働きかけのほか、業界に理解のある政治家（職域代表）の活動を支援しています。
- 「職域代表」の活動により、これまで「公共事業費の確保」「議員立法による国土強靱化関連法の制定」「議員立法による品確法の施行、改正」「技術者単価・調査基準価格のアップ」など、業界の環境改善が実現しています。



2. 職域代表と就任期間

- これまで職域代表として、佐藤信秋参議院議員と足立敏之参議院議員のお二人に活動いただきましたが、足立議員が任期途中の昨年12月に不慮の事故で急逝され、現在、佐藤議員のみとなっています。
- その佐藤議員も今年7月の任期で勇退するため、同月に実施される参議院選挙で後継となる職域代表の当選を確保することが、業界の将来を左右する最重要課題となっています。



佐藤 信秋 参議院議員

新潟県出身
 1972年 建設省入省
 2005年 国土交通省事務次官
 2007年 初当選（当選年：'07年,'13年,'19年）
 ・国土強靱化推進本部 本部長
 ・北海道総合開発特別委員会 委員長
 ・公共工物品質確保に関する議員連盟 幹事長



故 足立 敏之 参議院議員

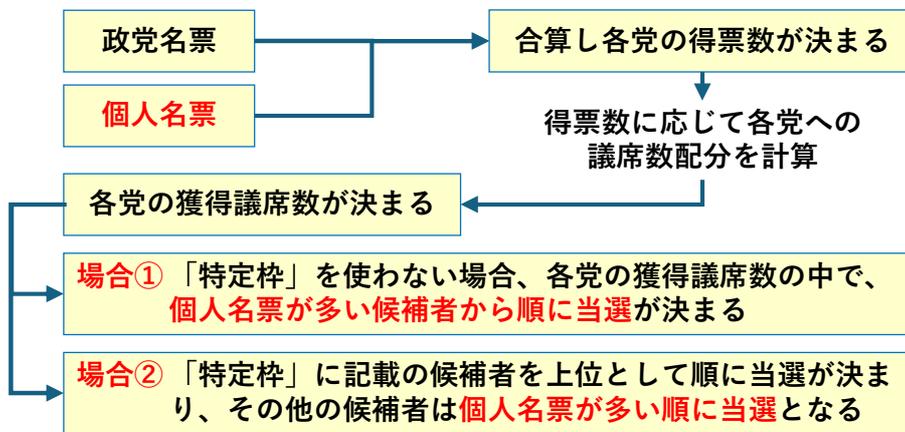
兵庫県出身
 1979年 建設省入省
 2013年 国土交通省技監
 2016年 初当選（当選年：'16年,'22年）
 ・国土強靱化推進本部 事務局長代理
 ・公共工物品質確保に関する議員連盟 事務局長代理
 2期目途中の2024年12月逝去

2007	2010	2013	2016	2019	2022	2025
協雅史 議員	佐藤 信秋 議員	協雅史 議員	佐藤 信秋 議員	足立 敏之 議員	佐藤 信秋 議員	?
協雅史 議員	協雅史 議員	協雅史 議員	協雅史 議員	足立 敏之 議員	足立 敏之 議員	足立 敏之 議員 (2024.12逝去)

3. 「職域代表」を選出する参議院選挙のしくみ

- 「職域代表」とは、参議院の比例代表制によって選ばれる議員の一部が該当し、建設産業のほか、医師や郵政、農業など多様で、社会のさまざまな「現場」からの声を国政に反映する仕組みとも言えます。
- 参議院議員の任期は6年で、3年ごとに議員の半数が改選されますが、衆議院のように解散がないため規則正しく選挙が行われます。
- 参議院議員の定数は248で、今年の改選数は半数の124（選挙区74、比例代表50）となり、有権者は「選挙区」と「比例代表」の2種類の投票を行います。
- 「選挙区」は、原則、都道府県単位に設けられ、選挙区の数現在は45となっています。
- 「比例代表」は、投票用紙に政党・政治団体の名前か候補者の個人名のいずれかを書いて投票します。
- 政党名と個人名の票の合計が各党の得票数となり、その数に応じて規定の計算式で議席が配分されます。
- 各党の得票議席の中で、**どの候補者が当選するかは、原則として、個人名が多い順に決まります。**
- 参議院選挙は衆議院選挙と異なり、比例代表の候補者名簿に順位が付けられていない非拘束名簿式であるため、**個人名での得票数が極めて重要**になります。
- 一方、事前に政党が決めた順位に従って優先的に当選者が決まる「特定枠」を設けることができます。
- 「特定枠」は、「非拘束名簿」と切り離して、政党が優先的に当選人となるべき候補者に順位をつけた名簿をつくり、「特定枠」の候補は個人名の得票に関係なく、名簿の順に当選が決まります。
- この「特定枠」を使うかどうか、また使う場合、何人に適用するかは、各政党が自由に決められます。
- ちなみに前回2022年の参議院選挙で自民党は、比例代表で「特定枠」2名、「非拘束名簿」16名の計18名が当選しました（足立議員は非拘束名簿5位の得票数で当選）。

■ 比例代表の投票から当選までの流れ



■ 当選順位イメージ

(特定枠設定2、獲得議席数3の場合)

特定枠	1		当選
	2		当選
非拘束名簿式			当選 20万票
			落選 18万票

